

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ吹田市江坂町1丁目	階数	地上 9F
建設地	吹田市江坂町1丁目8番11	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	65 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年10月15日
敷地面積	552 m ²	作成者	(有)楷建築事務所 山口邦夫
建築面積	317 m ²	確認日	2015年10月19日
延床面積	2,294 m ²	確認者	(有)楷建築事務所 川崎敏彦

本図を右クリックし、「図の印刷」を選択していただくことで、外観図等を印刷することができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 83% (152 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 83% (152 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 83% (152 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.3

Q2 サービス性能: 3.2

Q3 室外環境(敷地内): 2.5

LR1 エネルギー: 2.6

LR2 資源・マテリアル: 3.0

LR3 敷地外環境: 3.1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.3)

音環境	3.3
温熱環境	2.4
光・視環境	3.4
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.2)

機能性	3.5
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.5)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 2.6)

建物外皮の	2.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.0)

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

地球温暖化	3.6
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。	その他 特になし
Q1 室内環境	遮音性能の優れた建材を使用し、住戸のプライバシーに配慮している。室内の空気質に配慮し、化学汚染物質の最小化及び換気量を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物を道路から後退させ、歩行者等に圧迫感を与えないよう配慮している。防犯性を高めることにより安心して居住できる環境の整備に努めている。
LR1 エネルギー	高効率照明器具を採用している。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場・駐車場を設け、周囲に渋滞や路上駐車などを発生させないよう努めている。小型燃焼機器からのNo x 排出を基準以内に抑制し、大気汚染防止に配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管配線材料を採用し、ライフラインである水・電気・通信などの防災対策に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0066

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)サムティ吹田市江坂町1丁目					
	建設地	大阪府吹田市江坂町1丁目8番11					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネ対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	2.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	2.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				